

お宝 No.25 「ヒバ埋没林」 (東通村)



2020 年 10 月 15 日撮影

約 1000 年前のヒバと出会える場所

かつて広がっていたヒバ林が砂丘に埋もれ、侵食で再び地表に現れた様子を見ることができます。猿ヶ森一体には古いもので約 2000 年前のヒバが現存していますが、猿ヶ森沢沿いは約 1000 年前のものです。

ヒバ埋没林の成因は諸説あり、飛砂による埋積、湖沼形成や津波被害による枯死、産業利用による人為的影響などと考えられています。

「ヒバ埋没林」(ひばまいぼつりん) の情報

- ☐所在地 青森県下北郡東通村
- ☐交通 下北駅から車で約 40 分
- ☐駐車場 あり ☐トイレ あり (12 ~ 3 月末は閉鎖)
- ☐注意 野生動物が出る可能性がありますので、クマ鈴など音のなるものを携帯してください。
虫が多い場所です。虫除けして散策することをおすすめします。

サイト内で危険箇所や異状を見つけたら
協議会事務局までご連絡ください

お知らせ

再認定審査現地調査が行われます

再認定審査現地調査が 27 日 ~ 29 日の日程で行われます。
再認定審査は 4 年 1 回行われ、下北ジオパークでは初めてです。
4 年前の認定時に指摘された事項への対応を含めた 4 年間の取り組みが評価されます。結果は 2021 年 2 月頃に発表予定です。



新規申請の際の現地調査の様子

「海をきれいに！牛の首海岸清掃」

9/27、脇野沢ボランティアの会主催の牛の首海岸清掃が行われました。当日は脇野沢地区の地域住民を中心とし、60名近くが集まり海岸清掃を行いました。

清掃の前には、北川推進員から牛の首農村公園から見える鯛島や牛の首岬の成り立ちを簡単に説明させていただきました。

脇野沢ボランティアの会、下北ジオパークサポーターの会が中心となって開催している牛の首海岸清掃は、毎年4月中旬に開催しています。興味のある方はぜひご参加ください！



「全国研修会 in 三笠ジオパーク」

10/7～10/9に北海道・三笠ジオパークで行われた日本ジオパークネットワーク全国研修会に北川推進員が参加しました。コロナ禍の中、感染対策をしっかりと行って開催された今回の研修会のテーマは、「ジオパークを活用したブランディングを考える」。ジオパークを軸に、地域のブランディングについて考える研修会です。

ワイナリーや高校生レストラン、博物館などの視察やグループでの討論を通じ、ジオパークを活用したブランディングについての知見を深めつつ、全国のジオパークに関わる人と交流ができました。



「ビジターセンターオープン！」

むつ来さまい館2階が、下北の大地・自然・ひとのつながりを感じ、楽しめる下北ジオパークビジターセンターとしてリニューアルオープンしました。下北ジオパークのストーリーやエリアの魅力紹介のほか、実際に触れる岩石展示や、水の働きや川の成り立ちを学ぶことができる「エムリバージオモデル」の展示などを楽しむことができます。

下北ジオパークの魅力がぎゅっとつまった場所になっていますので、皆様のお越しをお待ちしています！



編集後記

先日、縫道石山に登ってきました。今年三度目の挑戦にして、初めて頂上からの景色を見ることができました！（過去二回は雨・霧）想像していたよりもずっと海が近くに見えて驚きました。インターネットやSNSですぐに探し物を見つけられる世の中ですが、やはり自分の目で確かめることはとても大切だと感じました。

縫道石山頂上から見た佐井村福浦地区→



【発行元・お問い合わせ】

下北ジオパーク推進協議会 事務局

☎0175-22-1111（むつ市ジオパーク推進課内）



公式 HP



facebook

下北ジオパーク

検索